

ITによる自治体変革

～横須賀市の事例紹介～

電子市役所への取り組み

横須賀市

横須賀市の概要

■位置...神奈川県の南東

(三浦半島の中央部にあり、その約70%を占める)

■面積(1999.8.31現在の市域面積)...100.62 平方キロメートル

■市制施行

...明治40年(1907)2月15日

(神奈川県下で横浜市に次ぎ2番目)

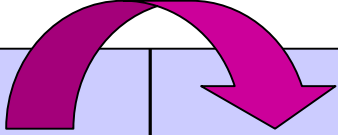
■人口・世帯数(2002.6.1現在の推計)

...430,679人・160,521世帯



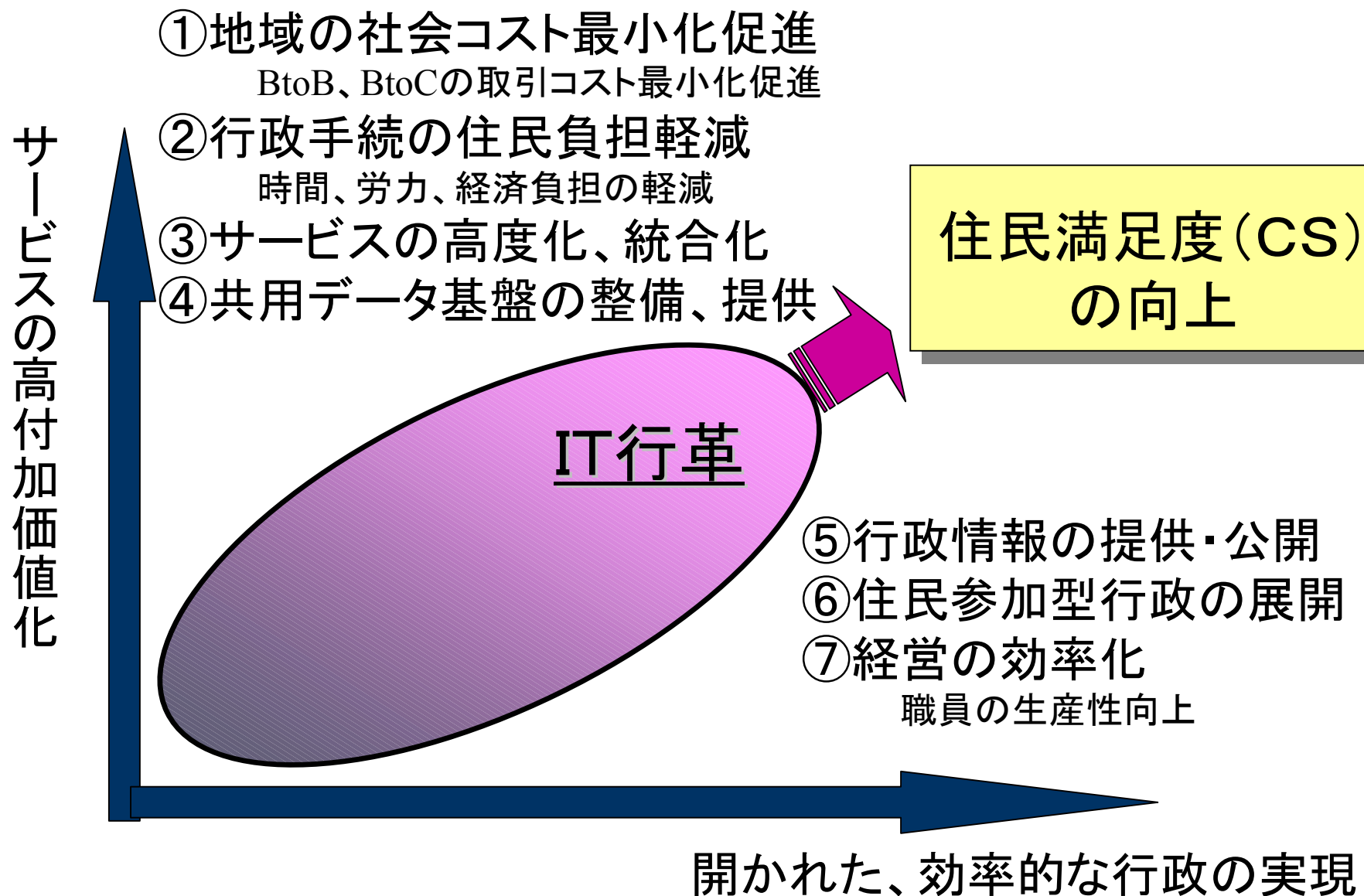
横須賀市の情報政策

行政はどう変わるべきか？



	工業社会	情報社会
価値観	豊かさとは 多くのモノを持つこと (実用的価値重視)	豊かさとは 多くの情報や知識、知恵 を持つこと (情動的価値を重視)
行政サービス	施設、モノが中心 (箱モノ行政)	知恵が中心 ・コンテンツ ・問題解決のノウハウ
行政の構造	中央集権型	分権、分散、ネットワーク型
経営姿勢	横並び型 受信型 シビル・ミニマム型	個性発揮型 発信型 シビル・マキシマム型

IT革命 自治体の役割



電子市役所を支える庁内推進体制

IT戦略会議

横須賀市IT基本戦略
(ITを活用した都市づくり、都市経営の戦略)

商工会議所
医師会
歯科医師会
：

オーソライズ組織
電子市役所推進本部

本部長：市長（CEO）
副本部長：助役、収入役
構成：全部局長
名称：電子市役所推進本部
(要綱等により設置)

電子市役所推進部会

各部局の
庶務担当
課長等

トップダウンとボトムアップ
を組み合わせた庁内推進体制

IT戦略担当職員

タテ組織による推進

各部局の
IT戦略の
策定及び
実施に関
する事務

テーマ別
プロジェクト
チーム 関係課長等

ヨコ組織による推進

必要に応じ
随時設置

行政情報基盤ネットワーク及びアプリケーション整備経過

- 平成8年度 本庁舎LAN、教育情報センターLAN整備
平成9年度 WWWサーバー運用開始
グループウェア運用開始
災害情報通信ネットワーク(実験システム)運用開始
学校用WWWサーバー及びDBサーバー運用開始
役所屋(電子ネットワーク窓口)開設
- 平成10年度 財務会計(C/S)運用開始
公用車管理システム運用開始
イントラネットホームページ運用開始
- 平成11年度 公文書管理DBシステム運用開始
インターネット調達 一部運用開始
横須賀まちづくり総合カードシステム 実験運用開始
公文書公開システム実験開始
- 平成12年度 広域 WAN - CATV光回線網整備
平成13年度 統合型GISシステム運用開始
市民公益活動に関する電子会議室開設
「横須賀市電子入札システム」本格稼動
本庁LAN改修 全庁ギガビットネットワーク



1 市役所内部の電子化

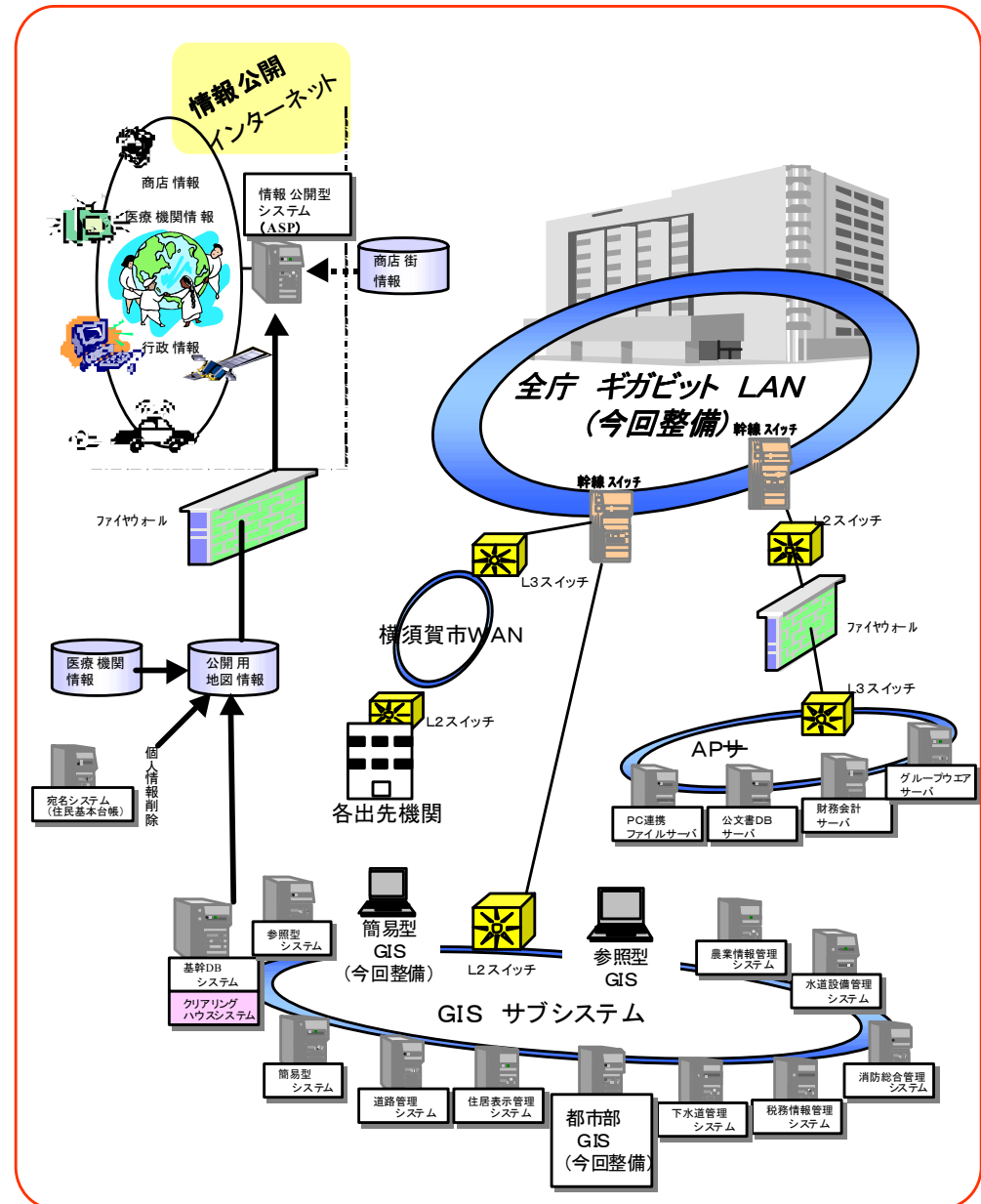
- ① 行政情報基盤（LAN）の運用
- ② インtranet及びグループウェアの運用
- ③ 財務会計システム及び
公文書管理システムの運用
- ④ 人材育成の充実
（職員の情報リテラシーの向上）
- ⑤ GISの活用

1 市役所内部の電子化

① 行政情報基盤(LAN)の運用

- ・整備:平成9年3月(通産省モデル事業)
- ・LANの規格:ATM
縦系100Mbps 横系10Base-T
- ・LAN接続の出先数(本庁舎以外)
:約100施設
- ・PC数:1,371台(接続申請を含むと1,580台)
1.31人/台(1.14人/台) 於1,800人
- ・改修:平成14年3月
- ・LANの規格:ATM
縦系100Mbps 横系100Base-T

システム構成図



1 市役所内部の電子化

②グループウェア・イントラネット

稼動:平成9年8月(グループウェア)

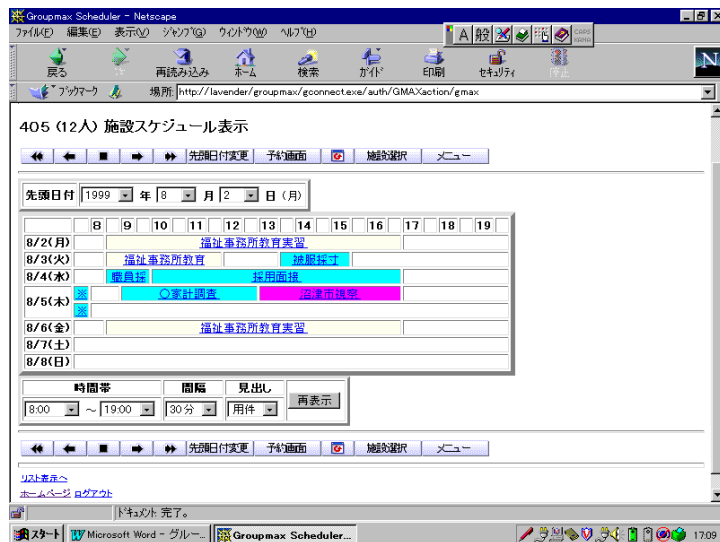
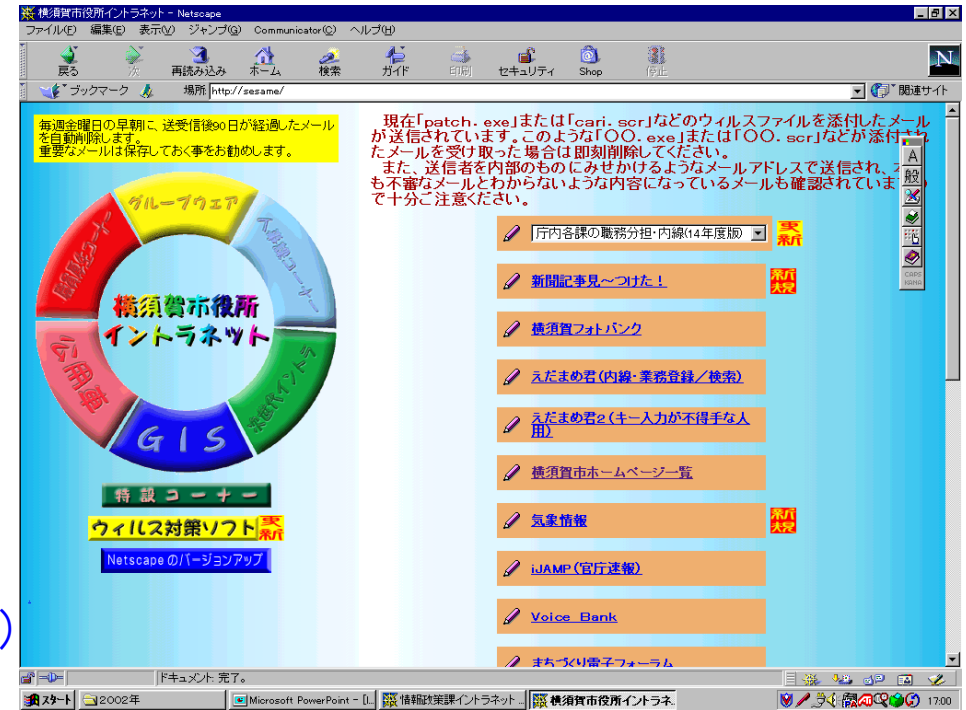
平成10年8月(イントラネット)

ID数:現在2,000IDで運用

一般行政職員 約 1,820

課(組織) 約 180

- 機能:
- ① メール(内部+Eメール)
 - ② 掲示板(業務用、職員グループ用)
 - ③ 職員スケジュール管理
 - ④ 会議室予約管理
 - ⑤ 例規データベース



グループウェア導入効果

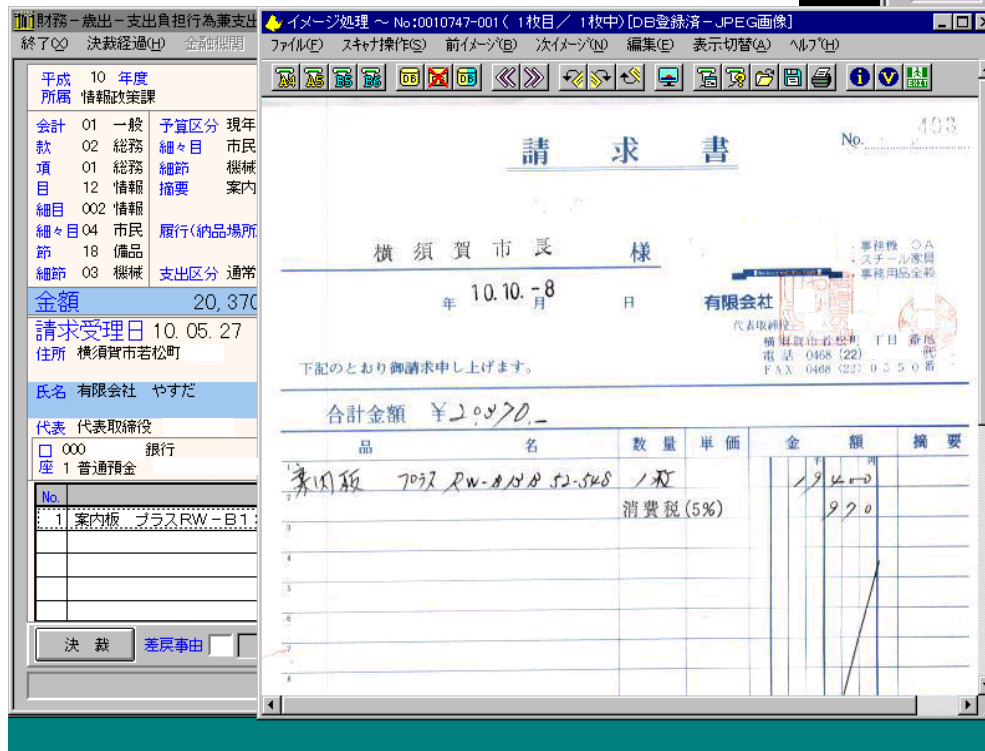
初年度実績調査で、紙約75万枚の削減
 次年度26%増、次々年度41%増
 イン트라ネットは、約80万枚/年の削減

1 市役所内部の電子化

③ 財務会計システム及び公文書管理システムの運用

- a.稼動:平成10年4月(財務会計システム)
平成11年4月(公文書管理システム)
- b.特長:両システムとも「電子決裁」を実施
- c.機能:財務会計システム → 歳入・歳出、予算編成、決算処理、契約サブシステム等
公文書管理システム → 電子目録作成、起案・決裁処理、保管、検索等

電子決裁画面



1 市役所内部の電子化

④ 人材育成(職員の情報リテラシーの向上)の充実 人材育成の基本方針



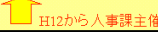
電子市役所
の財産は人

- ①職員全体の、情報化の基礎的能力を高める。
- ②情報化推進リーダーとなる職員を発掘育成し、情報主管組織をはじめ、庁内各組織に配置する。

情報化の基礎的能力

- ①組織と情報化の意義について理解していること。
情報共有・情報提供の意義、業務・組織改革の方法としての情報化等
- ②情報の取り扱いについて理解していること。
セキュリティの考え方、個人情報の取扱方法、著作権の考え方等
- ③情報システムの基本操作が出来ること。
PC基本操作、LANとの接続、共通PCアプリ（ワープロ、表計算等）、
業務アプリ（財務会計システム、文書管理システム、グループウェア等）
- ④情報提供の技術とセンスを身につけていること。
情報コンテンツ作成技法、プレゼンテーション技法等
- ⑤ネットワークにおけるルールやマナーを身につけていること。

- a.研修体系:上級、中級、初級の3階層
 b.研修実績:上級 → 270人、中級 → 654人
 初級 → 1,667人
 (初中級は延べ人数;H12年度末)
 c.セキュリティ・キャンペーン受講者数:約1,100人
 内容:パスワード管理、データの取り扱い等

横須賀市の情報化研修体系		
上級	電腦職員養成研修	情報政策課
中級	ホームページ作成研修 公文書DBシステム研修 財務会計システム研修 Access研修 デジタル・プレゼンテーション研修 WORD/EXCEL(応用)研修 WORD/EXCEL(基礎)研修	
初級	グループウェア研修 PC入門研修 新規採用職員PC研修 <small>H9, H10</small>	情報政策課  人事課

情報化研修実績 1,521名(2,591名)

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	計
電腦仕事人養成塾	50	50	30	—	—	130
電腦管理職講座	—	20	30	30	—	80
電腦マスター養成塾	—	—	20	20	20	60
Access基礎	—	—	—	—	57	57
デジタルプレゼンテーション	—	—	—	15	30	45
Word/Excel応用	—	—	—	94	88	182
Word/Excel基礎	—	—	194	176	—	370
グループウェア利用研修	—	375	272	146	50	843
PC入門(Windows入門)	—	375	273	117	59	824

1 市役所内部の電子化

⑤ 横須賀市統合GIS

統合GISとは

統合GISとは、

地方公共団体が、利用する地図データのうち、複数の部局が利用するデータ(例えば、道路、街区、建物、河川など)を各部局が共用できる形で整備し利用していく市内横断的システム。

統合GISを導入することにより、データの重複整備を防ぐことができ経費削減が可能になる。また、ネットワークを駆使することで各部署の情報の共有化でき、情報交換を迅速にし、行政の効率化と住民サービスの向上を図ることができる。

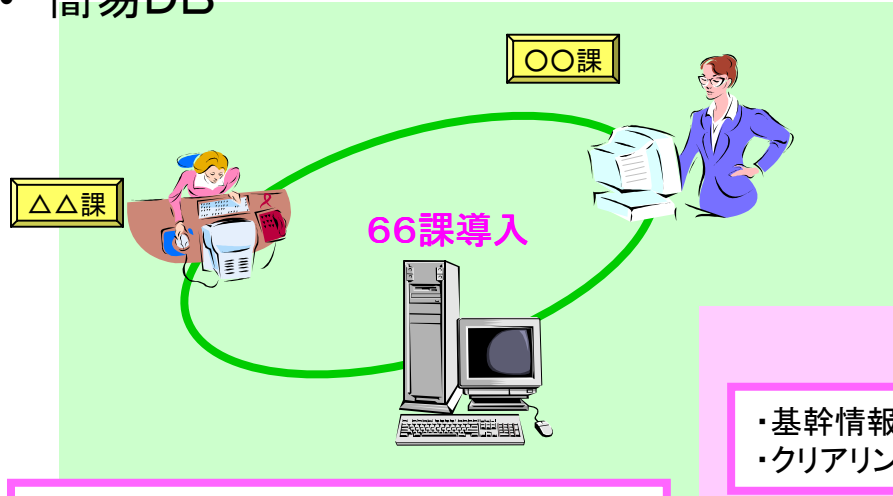
出所:総務省「統合型の地理情報システムに関する全体指針」より



横須賀市統合GIS

横須賀市統合GISの全容(H13年末)

・簡易DB



- ・基本的な機能のみを備えた簡易なGISソフト
- ・業務特有の機能を必要としないXX課に導入

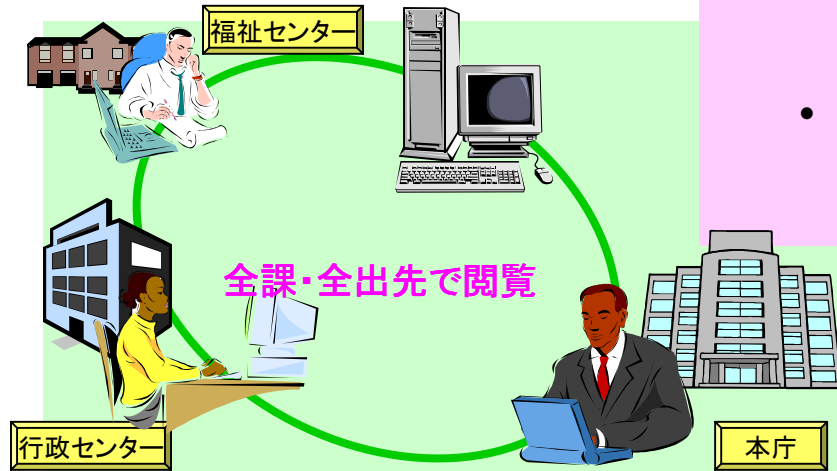
・個別DB



- ・基幹情報の管理・配布
- ・クリアリングハウスの供用

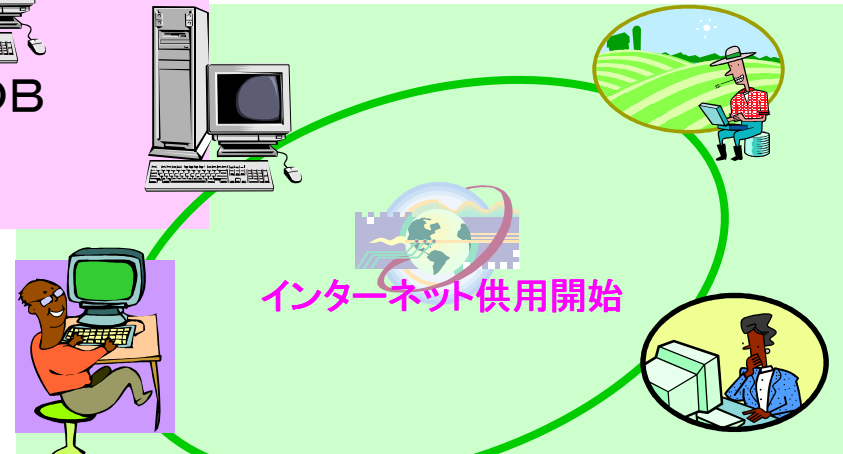
- ・各課の業務に特化したGIS
- ・業務特性に合わせたソフトを選択

・基幹DB



- ・共通地図をWebで全庁に供用
- ・住宅地図の感覚で利用できる

・参照系



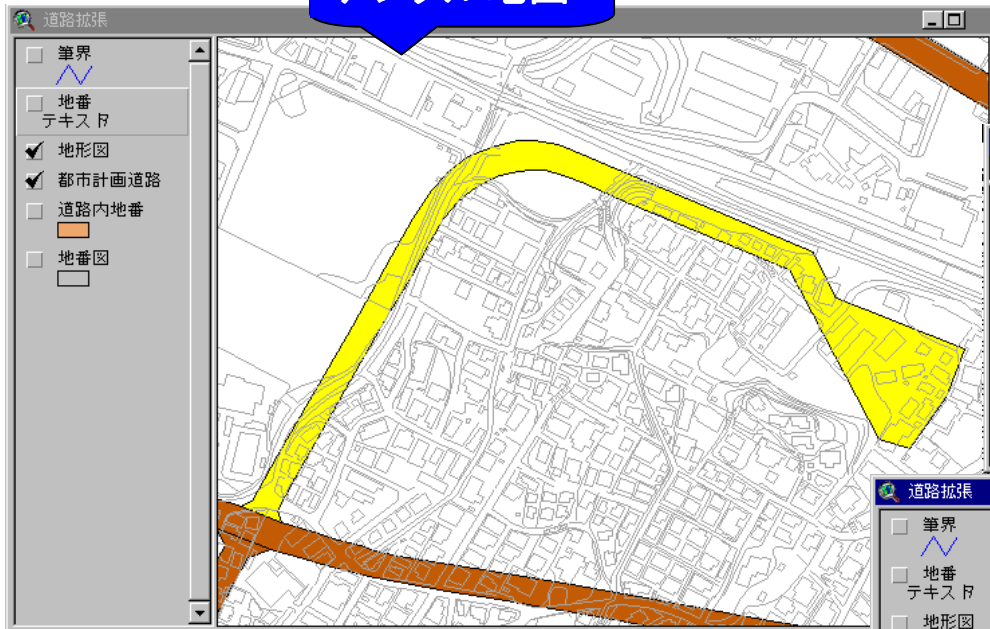
- ・公開可能な行政情報をインターネットで提供
- ・ASPでデータ管理

・情報公開型

横須賀市統合GIS

業務の高度化・客観化

デジタル地図



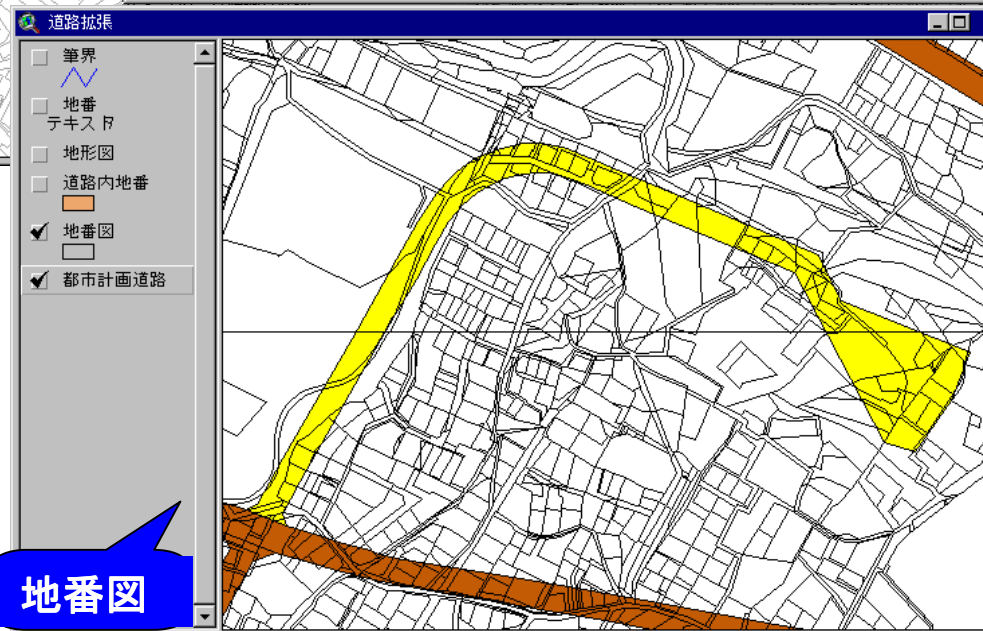
所有者リスト表示

地番	所有者氏名	所有者カナ	登記地目	現況地目	登記地積	現況地積
313	前田 伸一	マエダ シンイチ	07	10	7.34000	7.34000
313	八ツ田 実	ヤツタ ミチ	07	03	92.00000	92.00000
313	内川 勉	ウチガハ トム	07	03	30.00000	30.00000
313	久保 孝嘉	クボ タカヨシ	07	03	57.00000	57.00000
313	伊藤 雅乃	イトウ マコト	07	03	16.79000	16.79000
313	及川 喜好	オキガハ キョウ	07	07	278.00000	278.00000
317	座間 創	ザマ シゲユキ	17	17	257.00000	0.00000
317	田辺 健治	タナベ ケンジ	17	17	294.00000	0.00000
319	若林 稔幸	ワカヤマ トシユキ	07	07	495.00000	495.00000
323	古橋 美和	コハシ ミヅホ	07	07	186.00000	186.00000
329	三村 喜康	ミムラ キヨユキ	02	03	211.00000	211.00000

都市計画道路ルート検討に際して、該当する土地所有者並びに概算の土地買収価格を迅速に積算

短時間に複数ルートの検討が可能

地番図

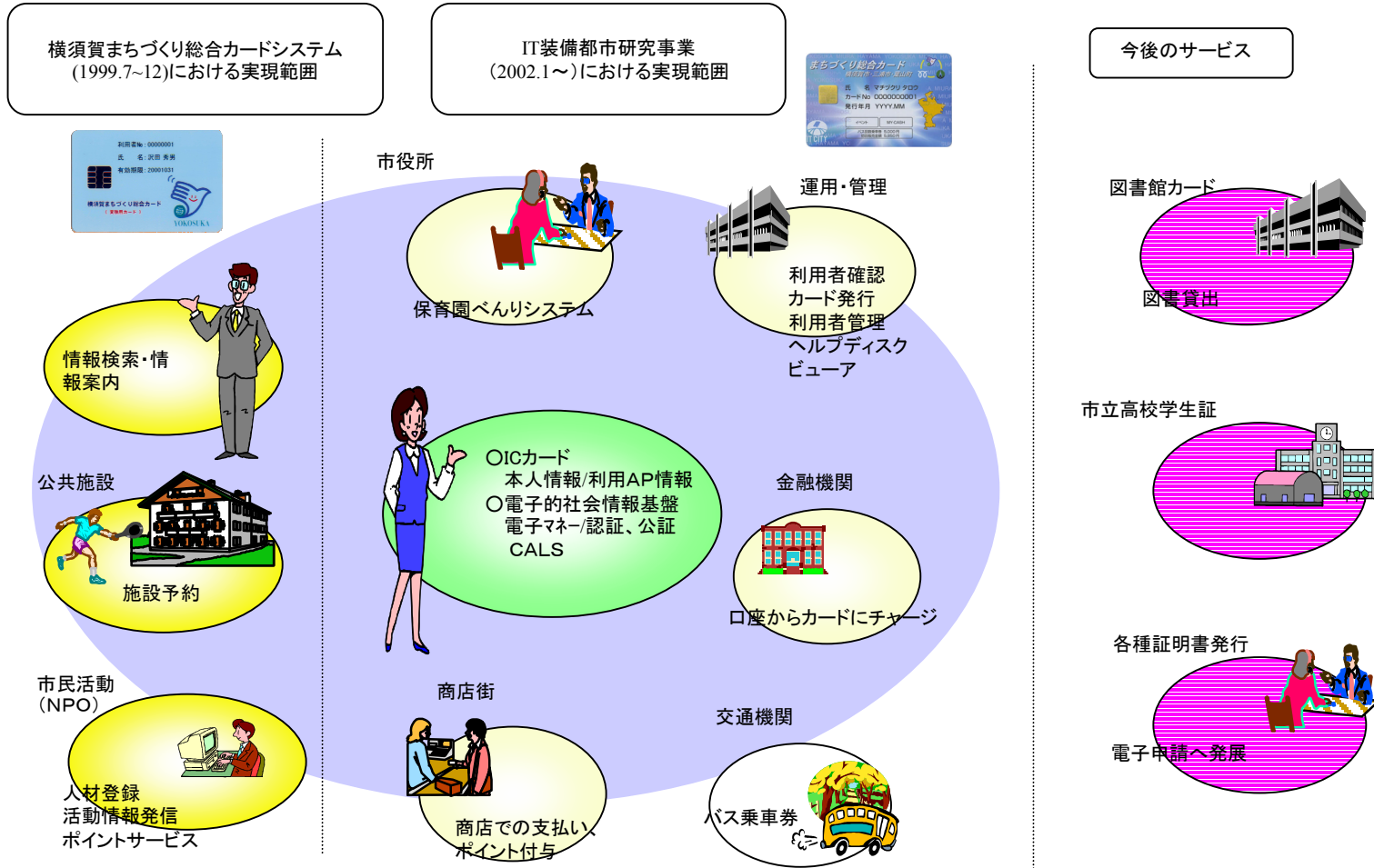


2 市民と市役所の接点 (行政サービス) のオンライン化

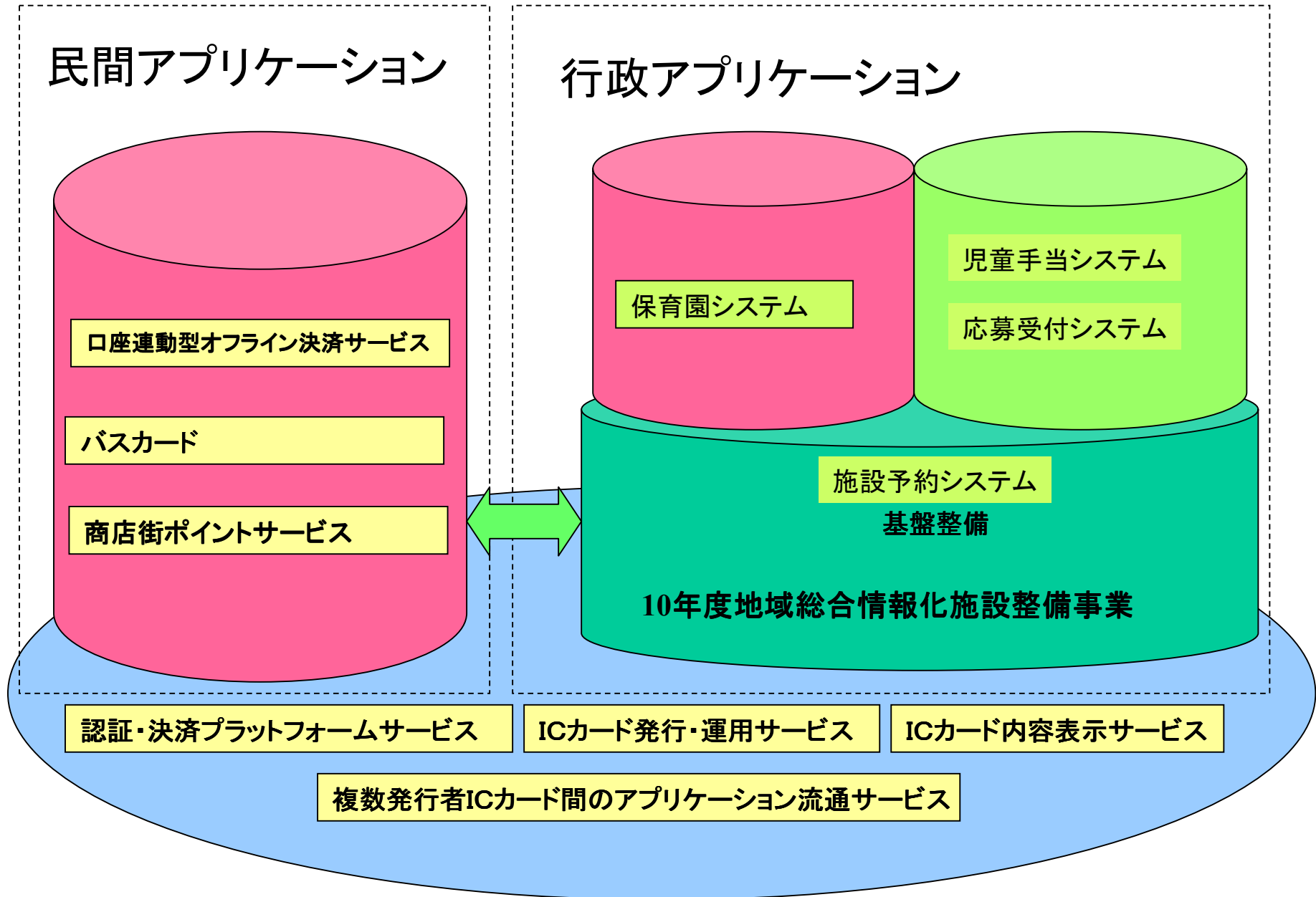
- ① まちづくり総合カードシステムの運用
- ② 申請・届出への対応
- ③ 行政情報のインターネット公開、利用促進
- ④ 市民ポータルサイト
- ⑤ 電子入札

2 市民と市役所の接点（行政サービス）のオンライン化

① まちづくり総合カードシステムの運用



ICカードシステム事業別一覧 13年度～



3 行政情報のインターネット公開、利用促進

② 申請・届出書類の電子化

a.開設:H11.4~一部稼動

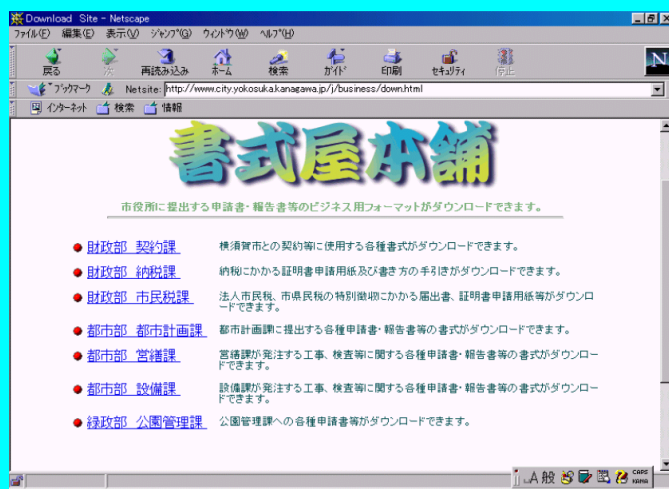
b.現状:

- i. 申請書等の様式171種類をホームページで提供
- ii. ダウンロードし、必要事項を入力してプリントアウトして窓口もしくは郵送にて申請
- iii. 押印については、全手続の約26%、410件を廃止済

c.今後:

- i. 申請書等の様式を500種類に拡充する予定
- ii. 簡易な届出について、インターネットによる届出を試行(H13年度を予定)

申請書等の書式を、ホームページで提供



申請書等の書式(ダウンロードしてプリント)

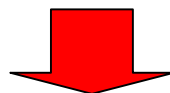
名称	ファイル名等	内容
着手届	keiyaku01.xls (29KB) MS-Excel97ファイル	提出時期: 工事着手時 提出場所: 契約課(契約課契約の場合) 工事担当課(契約課以外の契約の場合) 提出理由: 構内市契約規則による 提出対象: 請負工事全て 説明: 工事の着手の確認
現場代理人及び主任技術者等届	keiyaku02.xls (26KB) MS-Excel97ファイル	提出時期: 工事着手時 提出場所: 工事担当課 提出理由: 構内市契約規則による 提出対象: 請負工事全て 説明: 現場の請負契約の的確な履行の確保
工程表	keiyaku03.xls (55KB) MS-Excel97ファイル	提出時期: 工事着手時 提出場所: 工事担当課 提出理由: 構内市契約規則による 提出対象: 工期が10日以上工事請負 説明: 工程の管理

3 行政情報のインターネット公開、利用促進

③ 横須賀市民ポータル(仮称)

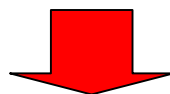
「横須賀市民ポータル(仮称)」の目的

住民ニーズやライフサイクルに合わせた、住民一人一人に対する情報提供により、個々人の事情や条件に応じたサービスの提供と効率的で開かれた行政の実現へ向けた基盤作り



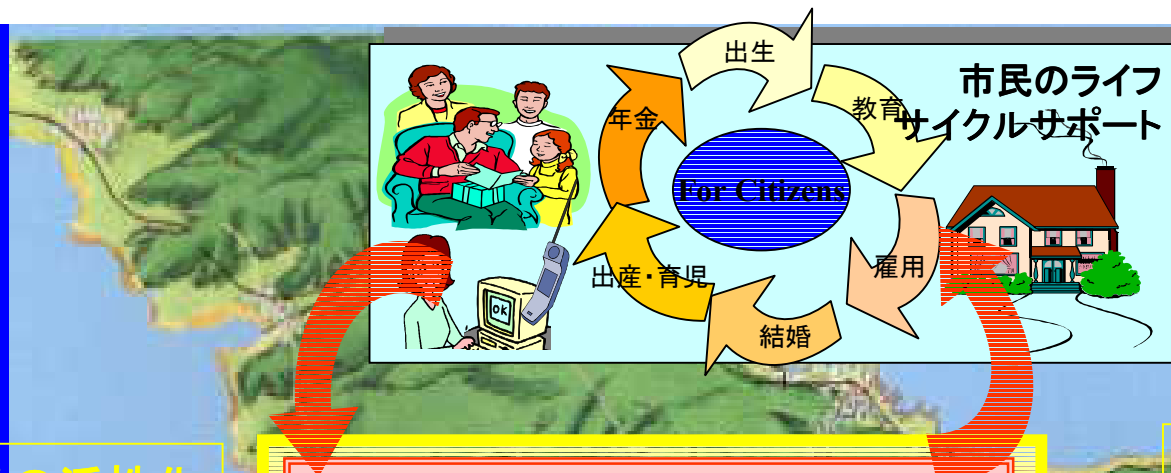
「市民ポータル(仮称)」の実現内容

- ①一元ワンストップ窓口の提供(ポータル)
- ②マイページによるワン・トゥ・ワンコミュニケーションの提供
- ③プッシュ型配信の提供



「教育サービス」分野での、実証実験モニタご協力をお願い

参考) 「市民ポータル」のコンセプト(将来像)



地域産業の活性化

**住民へのサービス
利便性向上**

ワンストップ/One2One(マイページ)/プッシュ型サービス

文化・趣味		しごと	くらし					
美容・エステ	習い事・サークル	企業 求人	住まい	医療・健康	福祉・介護	納税	出産・子育て	教育

行政機能 (情報提供/手続き)
民間サービス (情報提供/手続き)

市民ポータル

行政運営の簡素化・効率化

地域組織との一体化

- ・学校
- ・商店街
- ・民間機関
- ・企業等

市役所組織によるバックアップ

- 【市長事務局】
- ・総務部
- ・企画調整部
- ・財政部
- ・市民部
- ・健康福祉部
- ・市民病院事務局
- ・環境部
- ・経済部
- ・都市部
- ・緑政部
- ・土木部
- ・下水道部
- ・港湾部
- ・水道局事業部
- ・消防局
- ・収入役

- 【教育委員会事務局】
- ・管理部
- ・総務課
- ・生涯学習部

- 【各事務局】
- ・選挙管理委員会事務局
- ・公平委員事務局
- ・農業員会事務局
- ・固定資産評価審査委員会書記
- ・市議会事務局

サービスイメージ(将来像)



【保護者にとって】

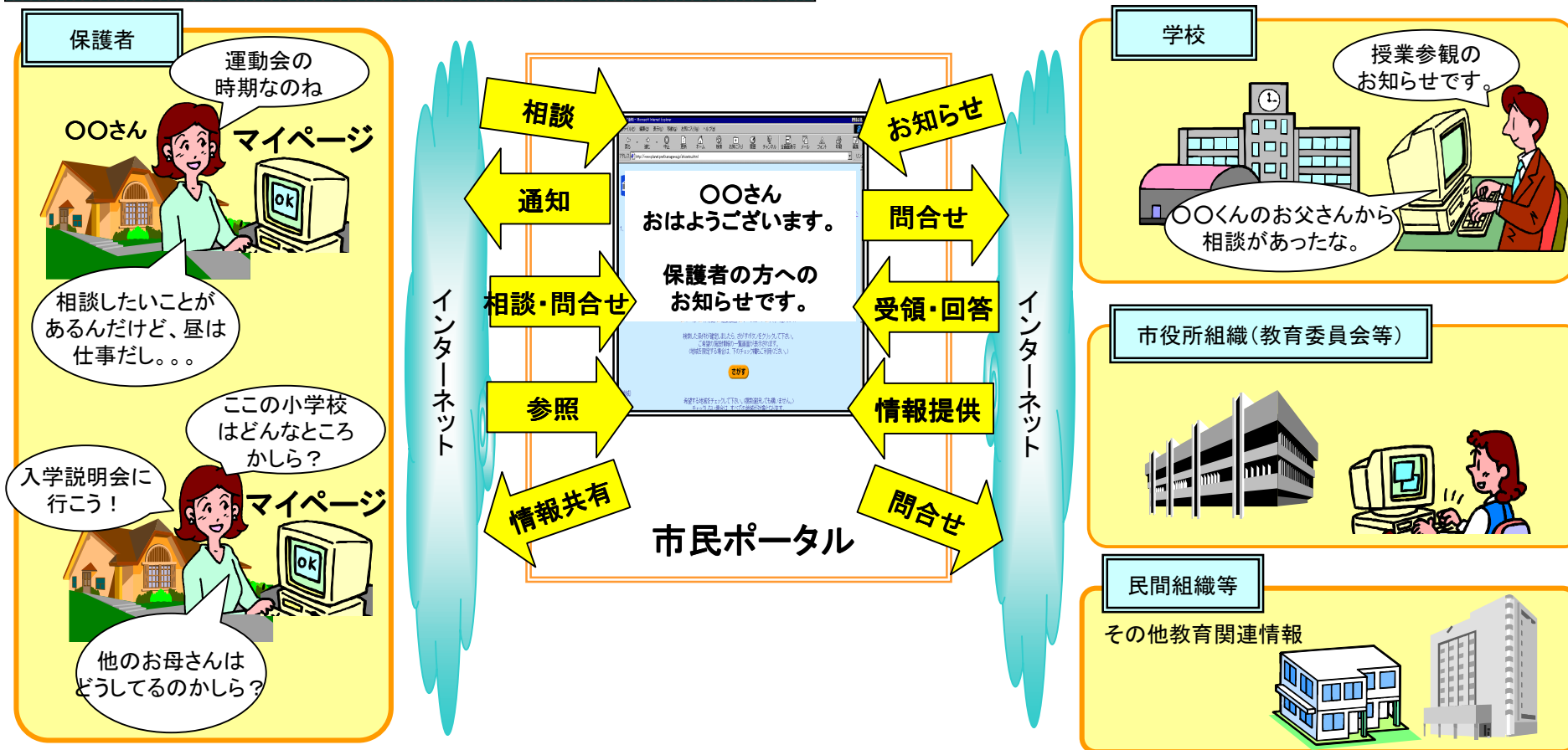
- ・「入学時に準備するものや書類って、よく分からない。」
- ・「学校からの連絡って本当に伝わってるのかしら？」
- ・「仕事が忙しくて、学校とのコミュニケーションがうまくとれない。」
- ・「もっと学校の先生と気軽に相談できたらなー。」
- ・「保護者同士の連絡ってもっと便利にできないかしら？」
- ・「地域の活動に子供を参加させたいんだけど、何があるのかしら？」

【実現イメージ】

「〇〇さん」個人のホームページを提供して、保護者－先生間の双方向コミュニケーションを可能にします。

- ・教師と保護者の相談
- ・連絡掲示板、お知らせ
- ・アンケート 等

※個人情報につきましては、管理徹底の元、取扱います。



3 行政情報のインターネット公開、利用促進

④. 電子入札

平成11年7月	電子入札導入に向け検討開始
平成13年3月 4月	業者登録データ更新SYS稼動 入札参加申請WEB受付開始
平成13年9月3日、4日	電子入札の業者説明会
9月07日	電子入札SYSテスト稼動開始
9月18日	記者発表
9月21日	電子入札SYS一部稼動(工事発注公告開始) ・ 1500万円以上の土木一式工事と舗装工事 ・ 1000万円以上の建築一式工事 * 参加業者数約250業者(指名業者1,800社中)
10月10日	電子入札SYSによる第1回自動開札 * 以降、毎水曜日電子入札による開札実施
平成14年1月中	ほぼ全工事案件について電子入札SIS導入

平成15年度	物件・委託について順次電子入札に移行

電子入札の導入効果

電子入札の導入目的＝増大した入札業務の軽減（効率化）



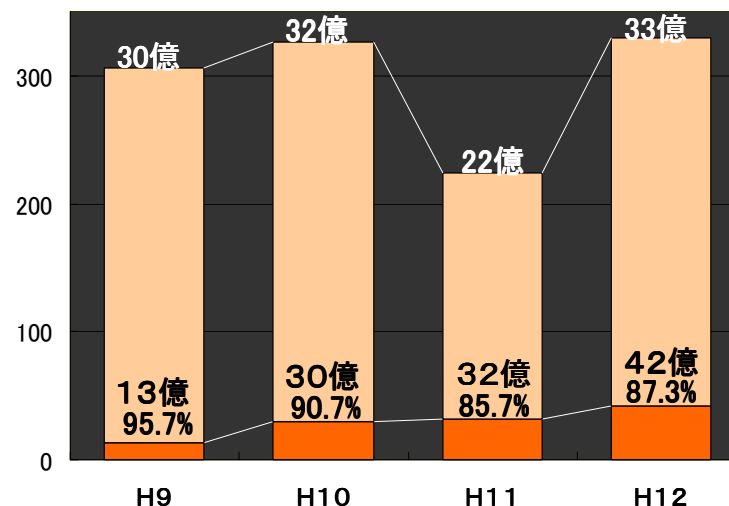
は、自動化された作業

入札制度及び業務改革により、入札正常化を確保した後、増大した入札業務をIT導入により、軽減化を図るため、電子入札を導入している。

入札の正常化は、電子入札のみに依存しない。事前に行われたBPRとIT導入の相乗効果が、効率的かつ正常に遂行される入札業務を実現する。

設計価格／入札差金年度推移

設計金額に占める入札差金



* H10.7月に入札制度改革実施

最後に

電子自治体推進のために

システムを導入しただけでは効果はない

システムのランニングコストが高い

- ・業務改善(BPR)
- ・職員のスキルアップ

*例(横須賀市の場合)
イニシャルコストに対して2割程度のランニングコストがかかる

- ・ASP
 - ・広域連携
- 】業務の標準化

①経営情報のオープン化

- ・行政の経営状況の開示要請が強まる
- ・開示することにより、格付けされる
- ・外部からの風を受けて、業務(経営)改善を進める好機

②組織のフラット化

- ・トップの経営理念や、現場の情報を即時共有化
- ・情報を伝えるだけの役職は不要に

③仕事のネットワーク化

- ・個々の自治体が全てのサービスを提供する必要はない
- ・複数自治体が共同で(協力して)、結果的に良質なサービスを低価格で提供できれば良い
- ・自治体間の委託～受託や、民間へのアウトソーシングも積極的に進めるべき

④業務の標準化、職員の資質向上

- ・仕事の具体的方法が標準化されなければ、仕事のネットワーク化は実現しない
- ・仕事の標準化は、職員のリテラシーやモラル向上を促進する
- ・低レベルで標準化しないように、リーダーシップが不可欠

⑤知の発掘、共有化

- ・知恵を出し合い、協力し合って問題解決を行う
- ・解決に時間がかかり過ぎると、解決の意味がなくなる

知の発掘のプロセス

- ・暗黙知を表出化させ、共有する
- ・表出化された暗黙知を編集し、新たな知恵を発掘する
- ・知恵を内面化(体得)する



よこすか開国祭



Yokosuka City

本書の内容の全部、または一部の無断使用・転載を禁じます。
横須賀市企画調整部情報政策課 〒238-8550 横須賀市小川町11番地
電話:0468-22-8241 FAX:0468-22-8143 E-mail:jouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp